



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                     |                                                                                                                                             |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | Socio-cultural and Water, Sanitation, and Hygiene Factors Affecting Menstrual Health and Hygiene Among Nursing Students in Bangladesh       |
| Author(s)           | ZAMAN, MD NAHID UZ                                                                                                                          |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                                       |
| Degree Name         | 博士(保健科学)                                                                                                                                    |
| Dissertation Number | 甲第16820号                                                                                                                                    |
| Issue Date          | 2026-03-25                                                                                                                                  |
| DOI                 | <a href="https://doi.org/10.14943/doctoral.k16820">https://doi.org/10.14943/doctoral.k16820</a>                                             |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/99665">https://hdl.handle.net/2115/99665</a>                                                           |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                                             |
| File Information    | Md_Nahid_Uz_Zaman_review.pdf, 審査の要旨 <a href="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/">https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/</a> |



学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称：博士（保健科学）

氏名：Zaman Md Nahid Uz

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 審査委員 | 主査 教授  | 澤村 大輔 |
|      | 副査 教授  | 山内 太郎 |
|      | 副査 准教授 | 近藤 祥子 |

学位論文題名

Socio-cultural and Water, Sanitation, and Hygiene Factors Affecting  
Menstrual Health and Hygiene Among Nursing Students in Bangladesh  
(社会文化、水・サニテーション・衛生が  
バングラデシュにおける看護学生の月経保健衛生に及ぼす影響)

当審査は、2026 年 1 月 21 日に実施された公開発表において行われた（出席者 17 名）。

近年、月経保健衛生（Menstrual Health and Hygiene：MHH）は、女性の身体的・精神的健康のみならず、尊厳の保持、教育機会の確保、社会参加の促進に直結する重要な課題として国際的に注目されている。しかし、これまでの研究および介入の多くは思春期女子に焦点を当てており、将来の医療従事者である看護学生など成人女性を対象とした実証研究は限られている。特に低・中所得国においては、月経をめぐる社会文化的スティグマや、不十分な水・衛生・衛生習慣（WASH）環境が月経実践に与える影響について、定量・定性の両面から体系的に検討した研究は十分とは言えない。

本論文は、バングラデシュの看護学生を対象として、社会文化的要因および WASH 環境が月経保健衛生に及ぼす影響を多角的かつ包括的に検討したものである。研究は、①成人女性の MHH に関する既存研究の整理を目的としたナラティブレビュー、②質問紙調査による横断研究、③半構造化面接に基づく質的研究、④定量・定性データを統合した混合研究法による分析、⑤参加型教育プログラムを用いた教育的介入研究の 5 つから構成されており、月経実践を取り巻く要因を多層的に明らかにする研究設計が採用されている。横断研究および混合研究法による分析の結果、親の教育歴、月経に対する羞恥心、不十分なトイレのプライバシーや廃棄設備といった WASH 環境要因が、不衛生な月経用品の使用と有意に関連することが示された。一方、質的研究からは、経済的に月経用品を購入可能な状況にあっても、社会文化的スティグマや施設環境の不備により、使い捨て月経用品の使用をためらい、不衛生な実践を余儀なくされている実態が明らかとなった。さらに、教育的介入研究では、参加型の月経保健衛生教育プログラムにより知識および態度の有意な改善が認められたものの、実践行動の変容は限定的であり、教育介入のみでは十分な行動変容を達成することが困難であることが示唆された。

これを要するに、本論文は、月経保健衛生が個人の知識や経済状況のみならず、社会文化的規範および WASH インフラといった構造的要因に強く規定される多次元の課題であることを実証的に示したものである。特に、将来の医療提供者である看護学生を対象とした点は独創性が高く、

月経保健衛生教育を看護教育課程に統合する必要性を示した点に学術的・社会的意義が認められる。よって著者は、北海道大学博士（保健科学）の学位を授与される資格あるものと認める。